

MIYAGI CAMPUS
2017年
4月開校

加美町の魅力を
体感しよう!

加美町にしかない・
素敵な暮らしの音がある!

くにたち
国立音楽院宮城キャンパスが
来年4月開校!

<地方創生 × 音楽>
http://kma-miyagi.com

▲国立音楽院 宮城キャンパス

なぜ宮城なのか?という質問も多く頂いております。そして本当に開校できるか?という質問はもっとたくさん頂いております。

宮城県古川(新幹線の停車駅)から車で30分の加美町という所に、残念ながら廃校になってしまった小学校があります。この小学校に通った生徒達や地元住民の方達にとっては思い出の学舎。先日、井出達也君(p43)のオリジナルソングにのせた素晴らしいメモリアル映像作品が出来上がりました。

<https://www.youtube.com/watch?v=g1PRTfvkEDo>

加美町の猪股町長の斬新な発案で、なんとカリキュラスできないか、この小学校にまた人を呼べないか、そしてすごいのは、「音楽」で町おこしができないか?



単なる工場や企業の誘致ではなく、移住定住の促進や交流人口の拡大につながる地域プロジェクトに国立音楽院がご縁をいただき、参入する運びとなりました。

卒業後は「地域おこし協力隊」として最大3年間は加美町に定住し、音楽と農業などの仕事ができる選択肢と楽器製作や修理の専攻学科には、学内に立ち上げる楽器工房に就職したり、町が個人工房の開設を推進し独立のサポート、「音楽と福祉のまちづくり」を掲げて音楽療法士が活躍できる場を提供するなど、宮城キャンパス卒業生には独自のバックアップ体制を整えています。

現在、内閣府が進めている「地方創生」。加美町では、地方創生関連予算や地域再生制度を活用し、宮城キャンパスの開校に向けた施設の改修や教材備品の整備(ハード事業)と加美町を知ってもらう交流事業(ソフト事業)を交え、教育環境の充実にも力を入れています。国立音楽院の宮城キャンパス進出には、行政の協力と町との大きな協力体制のもと、河北新報社・FM仙台・地元楽器店(山野楽器・サンリツ楽器など)など地元の企業とも連携を強めながら、日本初のプロジェクト「音楽と福祉をビジネスとする町づくり」を推進しております。

Message

宮城県の北西部に位置し、清らかな清流と加美富士「葉菜山」に代表される自然豊かな加美町は、国内有数の音響効果を誇る「パッサホール」を有し、音楽のまちづくりに力を入れています。そんな中、加美町では音楽の力による地方創生を目指し、国立音楽院との協働により宮城キャンパスを開校することにいたしました。加美町は音楽の夢を目指す皆さんを応援します。四季折々の美しい風景と温かい人々が住む「ほどよい田舎 加美町」で音楽の夢を叶えませんか。

加美町企画財政課長 熊谷和寿

昨年5月から1年半、加美町に通いながら四季の移り変わりを感じさせていただきました。この素晴らしい自然に囲まれた環境のもと、あたたかく迎え入れてくださる町民の方々とお話をすればするほど、音楽療法士・リトミック指導員を育成して各施設へご紹介したり、楽器工房を設置して受注拡大を図るなど、具体的に音楽を仕事にする場所の創生が音楽のまちづくりに貢献出来る道筋だと実感しております。加美町でしかできない宮城キャンパスの特徴もたくさんあります。詳しくはホームページをご覧ください。

国立音楽院教務営業部長 島田典明

今、加美町では

音・農・食・人
加美町にしかない素敵な暮らしの音がある♪

をテーマに、みんなで創る地域プロジェクトをすすめています。

またこのプロジェクトに忘れてはいけない全国的に有名なパッサホールはこの加美町にあり、小学校の跡地からすぐです。パッサホールでは、猪股町長が立ち上げた「パッサホール管弦楽団」があり、宮城キャンパスの学院生たちもこのパッサホールで開催されるコンサートの出演チャンスがあります。

中新田小学校(加美町)は金管バンドで全国大会で金賞を受賞するほどの実力校で、ホールも楽器の一つ、地元にもこのような有名なホールを保有していることは音楽活動をする上でも意義があり、国立音楽院の分校開校の決め手にもなりました。

指導講師の先生方をはじめ、在校生やOG、OBの卒業生のみならずご協力を頂きながら宮城キャンパスの積極的なPR活動をしています。また、これまでも加美町からは議員や教育委員会の方たちをはじめ、多くの方達に世田谷の東京校の視察にお越し頂きました。

初年度、開講する学科は管楽器リペア科、ヴァイオリン製作科、ピアノ調律科、ギタークラフト・リペア科、音楽療法学科、リトミック本科、中・高等部、専門部です。音楽カリキュラムは全て東京校と同一ですが、宮城キャンパスは町ぐるみのプロジェクト。地元、上多田川地区の農家と連携して農業体験も予定しております。



東京校に宮城キャンパス準備室を設け、在校生でもある加美町生まれ加美町育ちの佐野さん、名取出身の小齋さんの二人に協力をいただいています。来年は宮城キャンパスの教務スタッフとしても期待されています。また宮城キャンパスの学院長は、パッサホール管弦楽団の指揮者である佐藤寿一先生に就任していただくことになりました。宮城県と東京と音楽のつながりがどんどん広がっていきます。